

# スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）

平成27年度予算額

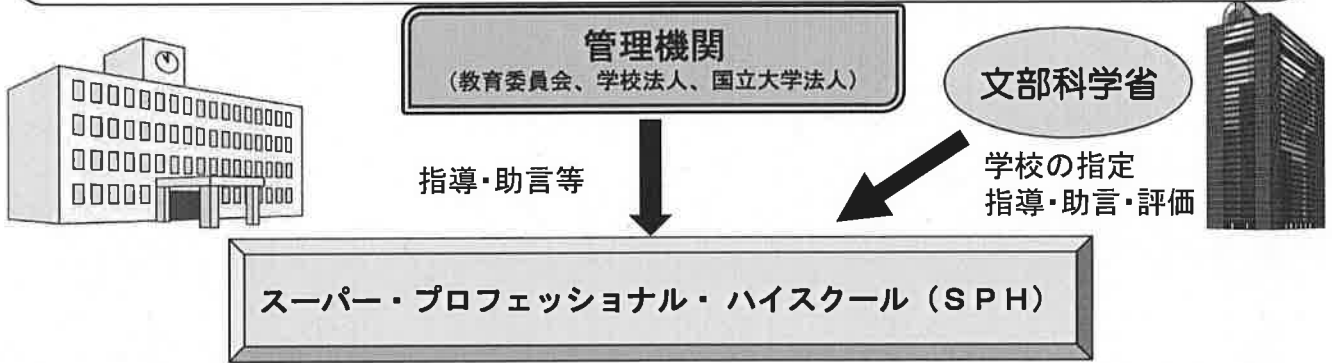
123百万円

平成28年度予算額

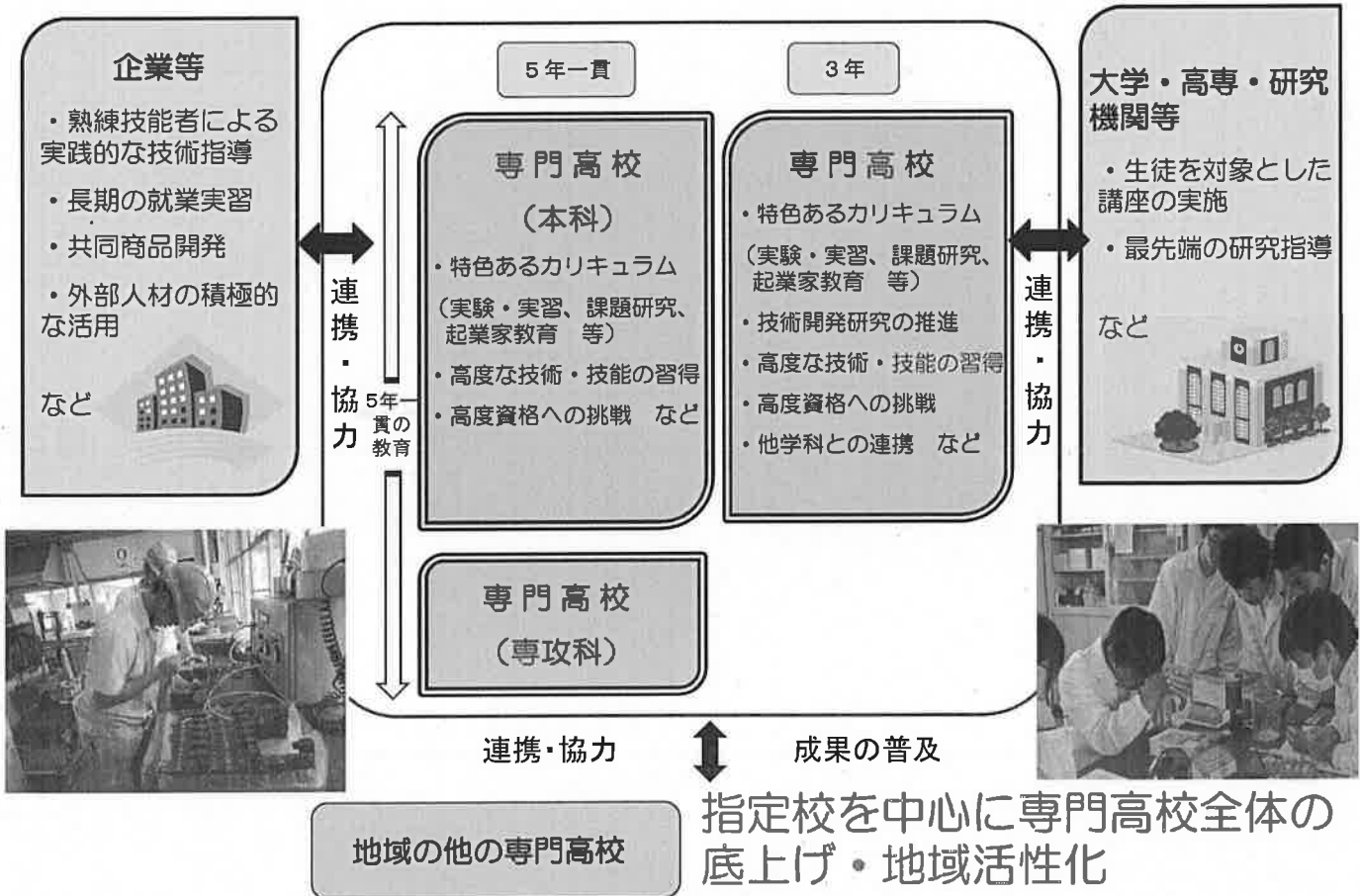
164百万円

社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組を行う専門高校（専攻科を含む）を指定し、実践研究を行う。

【委託事業 対象：都道府県教育委員会等】



先進的な卓越した取組を行う専門高校（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉の8学科）を指定。指定期間は3年（最大5年）。



我が国の産業の発展のため、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成

# 文部科学省「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）」 指定校への決定について

愛媛県立今治工業高等学校

- 1 本校が応募しておりました標記の事業について、文部科学省から指定校に決定した旨の発表（H28.4.4付）がありましたので、お知らせします。

※応募校 55校（内訳：公立51校、私立4校）

指定校 10校（内訳：公立10校）

（四国：今治工業高校のみ）

- 2 文部科学省が実施する同事業は、社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成することを目的として実施されるものです。

指定校は、今後3年間（平成28年度～平成30年度）、研究に取り組みます。

（初年度事業経費 年間約800万円を予定）

## 3 企画の概要

### ○研究開発課題

「船づくりをモデルケースとした地学地就による次世代スペシャリスト育成プロジェクト」

○対象学科 今治工業高等学校 機械造船科

### ○研究のねらい

本研究では、地域産業界との連携体制の構築方法や、地域産業界と連携した取組の実施方法等について実践的な研究を行い、専門的職業人育成メソッドを確立し、専門高校の在り方のモデルとして広く普及を図る。

### ○研究概要

#### 【Community Action I～III】（1～3年次）

- ◇確かな知識・実践的な現場技能とともに規範意識・倫理観を身に付ける取組
- ・「匠の技」や「職人魂」に直接触れることで生徒のモチベーションを高める授業等
- ・主に、地元造船会社、今治地域造船技術センター等との連携により実施

#### 【Challenge Stage I～III】（1～3年次）

- ◇専門分野の高度な技術を身に付ける取組
- ・世界最高水準の日本の造船技術に、高校生が直接触れる実験・課題演習等
- ・主に、愛媛大学、広島大学、海上技術安全研究所等との連携により実施

#### 【成果の普及】

- ◇県内の教職員や生徒を対象とした発表会や、全国の専門分野の教職員が集う研究大会において研究成果を発表

これらの取組を通して、地元で学び、地元で就職し、地域経済の発展に寄与するいわゆる「地学地就」を実践し、本県の地方創生に資することとしています。

# 船づくりをモデルケースとした地学地就による次世代スペシャリスト育成プロジェクト Collaboration in Education with Regional Communities in IMABARI



造船所の集積日本一の今治地域



省エネ船舶の設計  
3D-CAD

## Challenge Stage II (CS II)

- ・造船技術探究フィールドワークII  
船舶用エンジンの製造工程
- ・造船技術探究プログラムII  
模型船による船体抵抗試験・解析
- ・大学連携講座II (広島大学・愛媛大学)
- ・海上技術安全研究所 (海技研) 体験

## Challenge Stage III (CS III)

- ・造船技術探究フィールドワークIII  
世界最大級の試験設備での実習 (海技研)
- ・造船技術探究プログラムIII (広島大・愛媛大・技術研)
- ・省エネ船型開発、船舶構造力学、3D-CAD
- ・大学連携講座III (広島大学・愛媛大学)

## Challenge Stage I (CS I)

- ・造船技術探究フィールドワークI  
船の建造工程 (市内の造船所)
- ・造船技術探究プログラムI  
省エネ船開発の試験設備の見学
- ・大学連携講座I (広島大学・愛媛大学)

設計・開発



次世代の船舶



溶接

醸成

2年 船舶産業への理解の深化

3年 最新技術へのアプローチ

Community Action I (CA I)

1年 海事産業へ抱く夢

## Community Action I (CA I)

- ・匠の技継承講座I (アーク溶接)
- ・海外勤務経験者とのグループワークI
- ・卒業生とのデ・イカジョンI「地域産業へのアプローチ」
- ・造船所見学・船の進水式見学

現場技能

## Community Action III (CA III)

- ・匠の技継承講座III (ぎょう鉄(鉄板曲げ加工))
- ・海外勤務経験者とのグループワークIII
- ・卒業生とのデ・イカジョンIII「船舶建造の優れた技術」
- ・造船技術実践実習II「船舶ブロック製作」
- ・地元造船会社デュアルシステム



溶接

鉄板曲げ加工

普及・展開

## 地方創生

最先端・高品質の船舶を建造する地元企業で活躍するプロフェッショナル人材を輩出

- ・海事産業への夢
- ・確かな知識、実践的な技能、高度な技術
- ・規範意識・倫理観



技術(設計)と技能(現場)の両方を兼ね備えた人材

- ①本校の他学科へ普及 (成果普及検討委員会設置)
- ②県内の専門高校へ普及 (愛媛プロフェッショナル・ハイスクール・コンソーシアム)
- ③全国の造船教育実施校などへ普及

連携

国・大学等

- ・国土交通省・海上技術安全研究所
- ・愛媛大学・広島大学 (ほか)
- ✓高校生向けの造船の新教材作成(国交省)
- ✓世界最高水準の試験設備(海技研)での最先端の技術開発の実習 等

地元企業、自治体

- ・造船教育推進委員会(平成27年12月24日設置)  
地元造船会社8社、船用工業6社、今治市、今治地域造船技術センター(ほか)
- ✓地元企業技術者による「匠の技継承講座」など  
技術センター、造船会社での実践実習「アーク溶接、安全教育」  
卒業生とのデ・イカジョン、デュアルシステム 等

他県の造船教育実施校

- ・須崎工業高校・長崎工業高校
- ・下関中央工業高校 (ほか)
- ✓全国造船教育研究会での発表・協議
- ✓造船甲子園 等